



1 明科中文化祭『明中祭を明北小・明南小6学年が参観』 10月2日（金）

明科中では、『第51回明中祭』が、10月2日(金)・3日(土)に開催され、明北小・明南小の6年生は、初日を参観しました。高らかに開祭が宣言され、**明中祭『飛躍 ～全員の力で目指せ！明中の最高到達点！～』**が開幕しました。開祭式では、校長・生徒会長・実行委員長の挨拶の後、ステージバック・ポスター・アルミ缶回収の表彰、生徒会企画と続けました。ユーモアもあり見応えのある企画の演出に、小学生も見入っていました。不安や心配がある子どもたちにとっても、中学校入学を楽しみに、期待が持てる素敵な発表でした。



展示見学では、自由に各教室を回りました。北校舎2階の廊下サッシには、全校制作『ウィンドウアート（全学級）』があり、色とりどりのデザインで飾られていました。小学生と中学生が笑顔で会話している姿が多々あるのは、明科小中学校のよさだと思います。



小学生も様々な形で活動に参加してもらいながら、縦割り総合活動(75分)が行われました。小学生は、10ある探究講座を自由に回り、中学生の質問に答えたり、自分の考えを提案したりしながら、活動にも参加しました。来年度は、自分たちも一緒に取り組む明科中の縦割り総合なので、実際の授業を参観したり、学びに関われたりしたことは、とても有意義な経験であったと思います。



2 明北小・明南小6学年『明南小にて交流会』 10月2日（金）

明中祭開祭式後、6年生は、明南小体育館に一旦移動して、同学年交流会を行いました。交流計画・司会進行は明北小が行いました。両校の同学年交流は、TOCO-TON 実践校になる以前から、小中一貫教育推進校の取組（中学では一緒に学ぶ仲間）の一環として行われてきています。

交流会では、自己紹介の後、ミニゲームをして楽しみました。笑い声や笑顔も多く、楽しいひとときになりました。終わりの会、「たくさんの会話をして、顔や名前を覚えることはできましたか。残り半年の学校生活を、それぞれの学校で楽しみ、中学校で会ったときは、笑顔で再会したいですね。」という、明北小児童の言葉で会を終了し、再度、中学校へ向かいました。



<明中祭と交流会の振り返りから>

- ・明中祭は、開祭式が面白かった。先輩も優しくよかった。総合の、明科の歴史クイズで、たくさん知れたことがあってよかった。明南小との交流会では名前までは覚えられなかったけど、顔は覚えることができた。ワードワulfで、たくさんの会話ができて、なかよくなれた。明南小の人も楽しそうにやってくれて嬉しかった。中学が楽しみ。
- ・明中祭を見学してみて、とてもにぎやかだった。早く中学校に行ってみたいと思ったし、とても楽しかった。明南小と交流をしてみて、自分と同じ班の明南小学校のみんなと仲良く交流できたし、顔や名前も覚えることができた。
- ・中学校は、かなり広くて、場所を覚えるのは大変そうだった。中学生はみんな優しくだし、面白そうだから印象が明るくなった。明南小の人の名前は覚えられなかったけど、顔は覚えられだし、たくさん喋って仲良くなれた。
- ・中学生が何をやっているかや、来年に向けた見通しを持ててよかった。総合発表では、空き家のリフォームや運営についてなどの仕組みを知れてよかった。中学生が、クイズのときに盛り上げてくれて、すごく雰囲気がよかった。最初の開祭式が、すごく動画の編集がうまくできていて、中学生は、編集するのがうまいから見やすいし、たまに劇みたいに実際にその場に来ていてすごかった。演出のたびに、一部だけ明るくなるように専門の機械を使っていて、劇や発表に気持ちが入り込めたからすごく面白かった。